

令和 3 年 度（2021年度）

事業報告書

自 令和 3年（2021年）4月 1日
至 令和 4年（2022年）3月31日

公益財団法人 関西交通経済研究センター

目 次

I. 概況	1
II. 事業報告	2
1. 交通経済に関する調査研究	2
2. 交通経済に関する講演会等の開催	9
3. 懸賞「提案・提言」論文の募集事業	10
4. 文献その他出版物の刊行等	10
5. その他	11
III. 庶務事項	13
1. 会 議 等	13
A. 理 事 会	13
B. 評 議 員 会	13
C. 役員名簿等	13
2. 賛助会員	14
3. 事務局	14

I. 概況

令和3年度(2021年度)は、新型コロナウイルス感染症のまん延が続き、国内では緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が断続的に発令されたものの、ワクチンの接種対象の拡大や複数回接種も進み、政府、企業等は段階的に経済活動の抑制緩和に動き出した。ただし、内閣府の令和4年3月の月例経済報告では、「景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。」と報告されており、先行きについては、ウクライナ情勢等による不透明感がみられることもあり、下振れリスクにも十分注意が必要である。

しかしながら、関西圏ではJR大阪駅の周辺開発地区「うめきた2期地区」の開発など様々なプロジェクトが進行中である。

令和5年春に「うめきた(大阪)駅」の開業、令和6年夏頃に「うめきた2期地区開発プロジェクト」の先行まちびらき、令和9年度に全体開業が予定されている。また、令和13年春には「なにわ筋線」が開業し、大阪中心部から関西国際空港への所要時間が大幅に短縮され、利便性向上が期待される。

その他の鉄道ネットワークの整備については、令和5年度に北大阪急行電鉄の延伸、令和11年度に大阪モノレールの延伸が計画されている。

そして、令和7年4月には大阪・関西万博(想定来場者数約2820万人)が開催され、経済効果は約2兆円(大阪・関西万博協会HP)と、今後の関西経済の発展に寄与することが期待される。

このような状況の中、当センターは関西圏における交通運輸、観光及び経済社会の発展に資するよう、関係行政機関のご指導の下に、賛助会員並びに業界団体等の皆様からのご支援により、各種の事業運営を積極的に推進して来たところである。

今年度の交通経済に関する調査研究事業については、関係業界団体等からの受託調査研究事業等を実施した。その中には、当センターの組織であるTSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進に係る受託も含まれている。

交通経済に関する講演会等の開催については、災害対策シンポジウムの開催のほか、サロンセミナー、かんこうけんコロキウム等を実施した。

また、次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘する懸賞論文募集事業については、14編の応募があり、優秀賞1編、奨励賞2編を選定し表彰した。

このほか、文献その他出版物の刊行として、関西交通経済ポケットブック2021年版及び機関誌「関交研」2021年春季号を刊行した。

令和4年度は、当センターの創立50周年を迎える。関西圏の将来を展望し、交通運輸、観光及び経済社会の発展に貢献する調査研究事業の実施、情報発信等を行っていく方針である。

Ⅱ. 事業報告

1. 交通経済に関する調査研究

受託調査研究事業等・・・12件

《概要》

(1) TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進

【事業内容】

運輸の安全確保を最重要課題として発足した「運輸安全マネジメント制度」の施行から15年が経過し、大手・中堅事業者については取り組みが定着し一定の成果をあげている。他方で、未だ取り組みの途上にある中小規模事業者については相当数の事業者が努力義務に留まっていることや、貸切バス事業者に対する安全確保の社会的要請、近年の自然・社会環境の変化等により新たなリスクが顕在化してきている。

このような状況を踏まえ、国土交通省においては平成29年（2017年）7月に「運輸事業における安全管理の進め方に関するガイドライン」の改訂を行った。TSD（運輸安全マネジメント支援センター。以下〔TSD〕）においても「運輸安全マネジメント普及・啓発協議会」と協調し、改正ガイドラインに沿った教材を積極的に活用し、主として中小規模事業者の安全意識の醸成に努めた。

また、近年の自然災害の頻発化・激甚化が輸送安全の脅威となっていることから、国土交通省として令和2年7月に「運輸防災マネジメント指針」が策定され、令和3年10月に新たな認定セミナーとして「防災マネジメントセミナー」を設けた。

これを受けて、TSDにおいても認定取得申請を行い、令和4年2月に国土交通省から認定を受けたところである。これによりTSDの取得している認定セミナーとして「ガイドライン」「内部監査」「リスク管理」「防災マネジメント」の4セミナー全てを取得するに至っている。

さらに、事業用自動車の輸送の安全確保を目的に社会的規制の強化が図られており、TSDでは中小規模事業者を主とした対象として出前講座の強化や運行管理体制の更なる向上に資するため、運行管理者試験対策を積極的に進めた。

なお、昨年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講習会やセミナー等の開催については、参加者数の抑制を含む3密回避など感染防止対策を徹底したうえで実施した。

【成果】

1. 事故防止等安全対策マニュアルの普及

出前講座・セミナー等で活用するとともに、近畿管内のバス・タクシー・トラックの各団体に対し普及に努めた。

2. 運輸安全マネジメント出前講座及び講習会（講師派遣）の開催

・開催回数：1回 《参加者 37名》

3. 運輸安全マネジメント認定セミナーの開催

・開催回数：12回 《延べ参加者 429名》

・中小向けガイドライン：9回 《参加者 369名》

・リスク管理（基礎）：3回 《参加者 60名》

4. 運行管理者試験対策講習会の開催

・開催回数：29回 《延べ参加者 659名》

5. トラック初任運転者の特別指導講習会の開催

・開催回数：4回 《延べ参加者 122名》

(2) 運輸安全マネジメントシンポジウム

【事業内容】

平成18年より開始された「運輸安全マネジメント」の一層の普及・浸透・定着を図るため、シンポジウムを開催し、基本的考え方、最近の情勢情報等を提供するとともに、事業者の安全に対する好事例発表等を通じて、より多くの道路運送事業者が安全度の向上に資する事を目的として開催している。

本年度も、従前と同様に令和4年1月に会場開催を計画していたが、新型コロナ・オミクロン株の急速な蔓延等により開催直前に主催者の近畿運輸局の判断により延期となった。

そのことにより令和3年度中の開催は困難であることから、令和4年夏季に開催する方向で改めて調整することとなった。

(3) 交通事業者向けバリアフリー教育訓練(交通サポートマネージャー研修)の実施(関西地区)

【事業内容】

交通事業者(鉄道、バス等)を対象に、高齢者・障害者等、移動制約者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現し理解を深めることを目的に、交通事業者等に接遇・介助の知識と技術を伝えるための研修会(教育訓練)を実施した。

(訓練のポイント)

- ・声のかけ方、接遇・介助の方法、配慮する点等について、座学と実技、ディスカッションを通じて総合的に学ぶことができる。
- ・少人数のグループごとに障害当事者や専門家が加わるディスカッションを行い、参加者からの質問にもその場で回答できる。
- ・バスや鉄道の車両、駅施設等を用いた実技と専門家、障害当事者講師からの具体例を交えた講義により、実態に近い研修内容である。



(車いす乗降介助体験)

【成 果】

研修会を4回開催し、85名が受講し修了した。

- ・第1回 開催日：令和3年6月22日(火)～23日(水)
場 所：大阪国際交流センター
参加者：16名(鉄道8名、バス8名：関西合同研修)
- ・第2回 開催日：令和3年12月2日(木)～3日(金)
場 所：京都市交通局会議室
参加者：34名(地下鉄34名：京都市交通局研修)
- ・第3回 開催日：令和4年1月13日(木)～14日(金)
場 所：京都市交通局会議室
参加者：20名(バス20名：京都市交通局研修)
- ・第4回 開催日：令和4年1月25日(火)～26日(水)
場 所：大阪国際交流センター
参加者：15名(鉄道7名、バス8名：関西合同研修)

*コロナ禍の影響により、神戸市交研修1回、京都市交研修1回は実施出来なかった。

(4) 手話教室の開催

【事業内容】

交通事業従事者の手話技能の習得による接遇向上と聴覚に障害のある方への理解促進を図るための「手話教室」を24回開催し、聴覚障害者への理解と接遇の向上による移動円滑化の推進を図った。

【成 果】

鉄道、バス等の6事業者から10名が受講し7名が修了した。



(手話教室 講習風景)

(5) 2021年度 バリアフリー推進勉強会の開催（関西地区実施業務）

【事業内容】

交通バリアフリーを推進する上での課題等について、ハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、関係者等との意見交換や情報交換を目的として、関西地区のバリアフリー推進勉強会を開催した。

なお、今年度から有識者及び障害当事者を構成員とする企画委員会を設置し、テーマ、講師等について検討する場を設けた。



(勉強会収録風景)

【成 果】

○第13回バリアフリー推進勉強会 in 関西

- ・テーマ：視覚障害者向けナビゲーションタグの活用について
- ・講演：

「視覚障害者ナビゲーションの経緯と歴史」

柳原 崇男 氏（近畿大学 理工学部 准教授）

「視覚障がい者移動支援アプリ shikAI のご紹介」

小西 祐一 氏（リンクス株式会社 代表取締役会長）

「NaviLensについて」

北山 ともこ 氏（NPO法人アイ・コラボレーション神戸 理事）

「コード化点字ブロックを用いた音声情報案内システム」

松井 くにお 氏（金沢工業大学 工学部情報工学科 教授）

・ディスカッション

（コーディネーター）柳原 崇男 氏（近畿大学 理工学部 准教授）

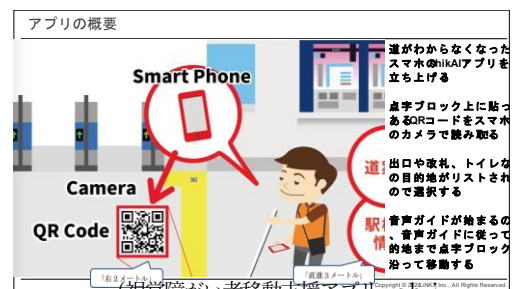
（コメンテーター）三星 昭宏 氏（近畿大学 名誉教授）

（パネリスト）事例発表者3名、川口 育子 氏（日本インクルーシブクリエイターズ連盟 クリエイティブディレクター）

・開催方法：関交研 YouTube チャンネル（録画）

・配信期間：令和3年10月11日（月）～10月29日（金）＊令和4年9月まで延長

・視聴回数：600回（申込者339名）



(視覚障がい者移動支援アプリ shikAI)

○第14回バリアフリー推進勉強会 in 関西

・テーマ：オールジェンダートイレ ～誰もが気兼ねなく使えるトイレを考える～

・講演：

「オールジェンダートイレを取り上げた背景」

室崎 千重 氏(奈良女子大学 生活環境学部住環境学科 准教授)

「男女共用トイレのニーズと事例のご紹介」

佐藤 敬子 氏(TOTO株式会社UD・プレゼンテーション推進部UD推進グループ)

「トランスジェンダーの立場から」

塩安 九十九 氏(新設Cチーム企画 主宰)

『オールジェンダートイレ』の『オール』とは誰か? : ICUの試み」

加藤 恵津子 氏(国際基督教大学 教養学部 教授、学生部長)

・ディスカッション

(コーディネーター)室崎 千重 氏

(パネリスト)上記講演者3名

・開催方法：関交研YouTube チャンネル (録画)

・配信期間：令和4年2月14日(月)～2月28日(月)

・視聴回数：300回 (申込者204名)



(トイレ ピクトグラム)

(6) 令和3年度 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等

【事業内容】

(一社)兵庫県トラック協会は、兵庫県一円の貨物自動車運送事業並びに、貨物利用運送事業の社会的、経済的地位の向上と会員相互の連絡協調を緊密にすることを目的に活動しているところであり、また、事業の役割と重要性について一般市民の理解促進を図ることについても重要な使命としている。

今年度は、全会員に対して環境と安全に配慮した運転を行うための「エコドライブチェック調査」の実施及び分析を行った。また、トラック業界の喫緊の課題である「働き方改革」の会員への周知、一般市民を含めた「環境と物流を考えるフォーラム」の開催、そして、近年多発している大規模災害時の行動の目安となる「トラックドライバーのための減災BOOK(電子版)」の更新、そして、「トラック事業者が取り組むカーボンニュートラル基礎講座」の配信を実施した。

【成 果】

1. エコドライブチェック調査の実施

・実施期間：令和3年11月1日から30日(※エコドライブ推進月間)

・回答数：事業者163社、ドライバー2628名

2. 会員向け広報誌「図表で見る トラック業界の価値を高める羅針盤」の作成

・作成部数：2500部(A4版、17ページ)

・内容：トラック業界の働き方改革、標準的な運賃の告示、協会の動き等

・配付先：兵庫県トラック協会の全会員

3. 「環境と物流を考えるフォーラム」の開催

- ・講演1：「トラック業界におけるカーボンニュートラルについて」
(講師) 長瀬 洋裕 氏 (国土交通省 自動車局貨物課 統括課長補佐)
- ・講演2：「カーボンニュートラル社会で変わる自動車業界
～生き残る企業とは～」
(講師) 野元 政宏 氏 (日刊自動車新聞社 電子版担当部長兼電子版編集長)
- ・開催日時：令和3年11月26日(金) 14:00～16:30
- ・開催場所：兵庫県トラック総合会館
- ・*兵ト協 YouTube チャンネルで録画配信
- ・参加者：55名



(協会会長開会あいさつ)

4. 「トラックドライバーのための減災BOOK (電子版)」の更新

- ・令和3年5月に改定された「避難情報に関するガイドライン」の内容を反映

5. 「トラック事業者が取り組むカーボンニュートラル基礎講座」

- ・講師：板垣 大介 氏 (中小企業診断士、株式会社ロジヤ)
- ・内容

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、意識醸成、取り組みの深化、継続のために、協会会員事業者を対象としたYouTube 講座を制作し、協会ホームページで公開した。



(トラック事業者が取り組むカーボンニュートラル基礎講座)

- ・講座1 「カーボンニュートラルって何? SDGs との取り組みとの関係は?」
- ・講座2 「温室効果ガス排出削減に向けて、運輸業界が行っている先進的な事例」
- ・講座3 「カーボンニュートラルに向けて、中小トラック事業者が今すぐ出来ること」

(7) 事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操のDVD作成

【事業内容】

前年度事業で構築した体操に、振付、音楽を付して映像化し、事業用自動車の運転者等に使用していた
だくことを目的にDVDを作成した。

【成 果】

- ・DVD並びに説明用リーフレット：500枚作成
- ・配付先：国土交通省、近畿運輸局、近畿2府4県の事業者団体等



(DVD ジャケット)



(説明用リーフレット)

(8) 事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操の教本制作

【事業内容】

安全管理者や運行管理者等の安全マネジメントを推進する立場にある運行管理監督者等が、本体操をより効果的に指導することを目的に、分かり易く解説した実践的な教本（解説書）を作成した。（別途作成したリーフレット及びDVDを副教材として貼付）



(教本)

【成 果】

- ・教本：1000部作成
- ・配付先：国土交通省、近畿運輸局、近畿2府4県の事業者団体等

(9) 「プロドライバーのためのHAKI! HAKI! 体操」効果検証事業

【事業内容】

体操の周知、普及を行い、各職種（バス、タクシー、トラック）のプロドライバーを対象に効果検証アンケート調査を実施し、その結果を分析、検証した。

○主な周知・普及活動

- ・行政、事業者団体等へ体操の周知宣伝の依頼
- ・業界団体の会員研修プログラム(新任運転者研修)への組み込みの依頼
- ・運輸局、事業者団体ホームページ等に体操YouTube動画にリンクするバナーの設置依頼
- ・事業者団体主催の研修会での体操の実演

○効果検証アンケートの実施

- ・バス、タクシー、トラック事業者(292社)およびそのドライバーを対象に、体操の実施状況、ドライバーへの影響等を調査

【成 果】バス、タクシー、トラックなどの事業者団体ホームページに体操動画バナーを設置したことにより、時間と場所を選ばず、誰でも体操動画にアクセスすることが可能になった。また、事業者団体主催の研修会等の機会に体操の実演を行い、事業者に直接普及・宣伝を図った。（バス、タクシーの関係団体の197名を対象に実施）

研修会等で体操を体験した事業者等に、効果検証アンケートを実施した。82事業者、53名のドライバーから回答があり、バス、タクシー、トラック各モードいずれにおいても、疲労回復、安全・安心（事故防止）、健康維持・増進に効果が見られることが示唆され、一定程度の評価が得られた。



(体操実演シーン)

(10) 令和3年度 交通環境教室

【事業内容】

少子高齢化、人口減少、そして、モータリゼーションの進展等により、乗合バスを取り巻く環境は極めて厳しい中、将来通学や通勤などで地域公共交通機関を活用する機会が多くなる子供（小学生）を対象に、地域の交通、環境問題に関心を持つきっかけを与えることを目的に体験型の交通環境教室（バス事業者、学識者の講話、バス営業所の見学等）を実施した。

【成 果】

- ・開催日：令和3年12月21日(火)
- ・開催場所：奈良市立佐保台小学校／奈良交通(株)平城営業所
- ・参加児童：55名（小学1年生27名、小学2年生28名）
- ・講師：神田佑亮氏（呉工業高等専門学校教授）、
奈良交通(株)、奈良市、近畿運輸局
- ・アンケート結果：

バスの乗り方や死角の危険性について参加児童の理解が向上した。また、「これからバスに乗ってお出かけしたいと思うか」という質問に対しほとんどが「乗りたい」と回答したことから、バスの利用促進や安全への理解向上という目的は達成できた。



(奈良交通(株)平城営業所)

(11) 令和3年度 交通環境セミナー

【事業内容】

環境負荷低減に貢献のあった交通関係環境保全優良事業者等近畿運輸局長表彰の受賞者（団体）や学識者、次世代自動車の導入に積極的な交通事業者から具体的な取組等を発表していただくことで、未だ環境対策に二の足を踏む事業者等への意識付けを目的に、ライブ配信形式でセミナーを開催した。

【成 果】

- ・講演内容：

○第1部

令和3年度近畿運輸局交通関係環境保全優良事業者等表彰受賞者
と有識者による座談会

コーディネーター：小谷 通泰 氏（神戸大学名誉教授）

パネリスト(令和3年度表彰受賞者)：

- ・清水 克之 氏（京都バス株式会社 参与）
- ・福井 陽介 氏（八尾市環境部環境保全課 環境政策係長）



(パネルディスカッション)

○第2部

(基調講演)

「我が国におけるバス電動化の動向ならびに電気バスと燃料電池バスの特徴比較」

(講師) 紙屋 雄史 氏（早稲田大学 理工学術院 教授）

(取組発表1)

「東京都交通局における燃料電池バスの導入状況」

高見澤 利幸 氏（東京都交通局 自動車部車両課 車両管理調整担当課長代理）

(取組発表2)

「みちのりグループの電動化に向けた取り組みについて」

吉持 次郎 氏（株式会社みちのりホールディングス ディレクター）

- ・開催方法：近畿運輸局 YouTube チャンネル（Live 配信）
- ・開催日時：令和4年2月24日(木) 14:00～16:40
- ・視聴回数：286回（申込者数：183名）

(12) 別府港UDターミナル推進における障害者当事者視点の旅客船バリアフリー化調査

【事業内容】

障害者が旅客船を利用する移動において、どのようなバリアが生じているか実態を把握するとともに、障害者にとって未だ馴染みの少ない船旅を、より身近に、より円滑に楽しむため、障害当事者参画による乗船調査を実施した。



(さんふらわあ ぱーる船内)

【成果】

障害当事者（車椅子利用者、聴覚障害者）が実際に乗船、利用したことにより、船内の様々なバリアやサイン表示などにおける課題が見いだされた。

2. 交通経済に関する講演会等の開催

(1) 第17回サロンセミナー

- ・講師：辻 卓史 氏（辻事業サポート事務所 代表）
- ・テーマ：変革期にある企業経営～求められるアニマル・スピリット～

① 会場

- ・開催日時：令和3年（2021年）12月10日（金） 14:30～16:30
- ・開催場所：ホテルプリムローズ大阪 2階鳳凰(東)の間
- ・参加者：42名

② 関交研 YouTube チャンネル（録画）

- ・配信期間：令和3年12月15日（水）～12月27日（月）
- ・視聴回数：68回（申込者数：57名）

(2) 第10回災害対策シンポジウム

- ・講演：「運輸防災マネジメントの推進について」
(講師) 増田 直樹 氏（国土交通省 大臣官房 運輸安全監理官）
「南海トラフ巨大地震の仕組みと情報」
(講師) 山岡 耕春 氏（名古屋大学大学院 環境学研究科 教授）
- ・開催方法：関交研 YouTube チャンネル（録画）
- ・配信期間：令和4年2月21日（月）～3月11日（金）
- ・視聴回数：364回（申込者数：230名）

(3) かんこうけんコロキウム

【第41回】

- ・講師：海上保安庁 第五管区海上保安本部長 鈴木 史朗 氏
- ・テーマ：「我が国の海をまもる海上保安庁のいま」
- ・開催方法：関交研 YouTube チャンネル（録画）
- ・配信期間：令和3年10月8日（金）～10月22日（金）
- ・視聴回数：107回（申込者数：51名）

【第42回】

- ・講師：近畿運輸局 交通政策部長 飯田 修章 氏
- ・テーマ：「関西の交通・観光・物流政策」
- ・開催方法：関交研 YouTube チャンネル（録画）
- ・配信期間：令和4年2月15日（火）～3月1日（火）
- ・視聴回数：104回（申込者数：65名）

【第43回】

- ・テーマ：懸賞論文受賞者（優秀賞）の研究発表
- ・開催日時：令和4年3月16日（水）10:30～12:00
- ・開催会場：大阪キャッスルホテル 6階 鳳凰の間
- ・参加者数：30名

3. 懸賞「提案・提言」論文の募集事業

次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘し、関西圏における運輸交通・観光の一層の発展と地域社会の活性化に寄与するため、平成20年度（2008年度）から懸賞論文事業を実施している。

今年度は14編の応募があり、優秀賞1編、奨励賞2編を選定した。

- 優秀賞：「鉄道事業と地域連携の必要性についての提言～障がい者の無人駅利用にあたって～」
野本 真那花 氏、岩浪 蛸樹 氏、大石 快登 氏、中西 陽奈 氏（関西大学 社会安全学部）

- 奨励賞：
「観光型 MaaS による観光需要の創出－六甲山エリアにおける提案－」
池永 進之佑 氏（一橋大学大学院 経営管理研究科）

- 「大阪市におけるシェアサイクルの利便性向上に関する提案」
上村 あゆ 氏、北野 千陽 氏、佐々木希実 氏（関西大学 社会安全学部）

※ 表彰式及び入選論文の研究発表は「第43回かんこうけんコロキウム」として開催した。

4. 文献その他出版物の刊行等

（1）「関西交通経済ポケットブック」の刊行

「関西交通経済ポケットブック2021年版」を刊行し、賛助会員、関係機関及び研究機関に配布したほか、一般に広く頒布した。

（2）機関誌「関交研」の発行

2021年春季号（142号）を発行し、賛助会員等に配付した。



【主な掲載内容】

- ・令和2年度 第16回サロンセミナー
「運輸業界・観光業界の現状と今後の展望について」
- ・第9回災害対策シンポジウム
「鉄道防災の過去を振り返りこれからの防災システムを考える」
「大規模自然災害への対応について」
- ・令和2年度第13回関交研懸賞論文 入選論文
「巨大地震発生時の新幹線の安全性と避難誘導の課題」
「航空券予約データを用いた訪日外国人旅行者の航空券購買行動分析」



(3) メールマガジン「関交研ニュースレター」の創刊

当センター主催の講演会等の開催案内、講演録などの情報を賛助会員等にタイムリーにお届けするため、令和3年（2021年）9月15日に創刊した。（第7号まで発行）

5. その他

令和3年度（2021年度）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当することがないので、事業報告の附属明細書は作成しない。

(参考)

令和3年度（2021年度） 調査研究事業一覧表

(P. 3～9 関連)

番号	事業名	受託先
1	TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進	(一財)近畿陸運協会
2	運輸安全マネジメントシンポジウム	(一財)近畿陸運協会
3	交通事業者向けバリアフリー教育訓練 (交通サポートマネージャー研修)の実施(関西地区)	(公財)交通エコロジー ・モビリティ財団
4	手話教室の開催	(公財)交通エコロジー ・モビリティ財団
5	2021年度 バリアフリー推進勉強会の開催(関西地区実施業務)	(公財)交通エコロジー ・モビリティ財団
6	令和3年度 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等	(一社)兵庫県トラック協会
7	事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操のDVD作成	(株)キリック
8	事業用自動車の運転者の安全・安心・健康維持促進体操の教本制作	(株)キリック
9	「プロドライバーのためのHAKI!HAKI!体操」効果検証事業	(株)キリック
10	令和3年度 交通環境教室	(一財)近畿陸運協会
11	令和3年度 交通環境セミナー	(一財)近畿陸運協会
12	別府港UDターミナル推進における障害者当事者視点の旅客船バリア フリー化調査	(公財)交通エコロジー ・モビリティ財団

Ⅲ. 庶務事項

1. 会議等

A. 理事会

(1) 第26回 理事会 (書面決議)

開催日 令和3年(2021年)5月21日(金)

議案 ① 令和2年度事業報告書及び決算報告書(案)の承認について
② 令和3年度定時評議員会の招集について

(2) 第27回 臨時理事会 (書面決議)

開催日 令和3年6月2日(水)

議案 ① 令和3年度定時評議員会の決議の省略について

(3) 第28回 臨時理事会 (書面決議)

開催日 令和3年6月28日(月)

議案 ① 令和3年度臨時評議員会(書面決議)の招集について

(4) 第29回 理事会

開催日 令和4年2月28日(月) 10:30~11:00

開催場所 大阪ガス(株)都市魅力研究室会議室

議案 ① 令和4年度事業計画(案)について
② 令和4年度収支予算(案)について
③ 第22回評議員会の招集について

B. 評議員会

(1) 第20回 評議員会 (書面決議)

開催日 令和3年6月7日(月)

議案 ① 令和2年度決算報告書(案)の承認について
② 理事の辞任に伴う選任について

(2) 第21回 臨時評議員会 (書面決議)

開催日 令和3年7月7日(水)

議案 ① 評議員の辞任に伴う選任について

(3) 第22回 評議員会

開催日 令和4年3月28日(月) 14:00~14:30

議案 ① 令和4年度事業計画(案)について
② 令和4年度収支予算(案)について

C. 役員名簿等

(令和4年3月31日 現在)

(1) 役員

会長	尾崎 裕	大阪ガス(株) 相談役
理事長	岩崎 勉	元 国土交通省 大臣官房総括審議官
常務理事	福元 稔	(公財)関西交通経済研究センター 事務局長

理 事	荒 木 律 也	(一社)京都府トラック協会 会長
〃	小 谷 通 泰	神戸大学 名誉教授
〃	加 藤 琢 二	加藤汽船㈱ 代表取締役会長
〃	塩 川 耕 士	(一社)大阪バス協会 会長
〃	竹 添 進 二 郎	日本通運㈱ 常務執行役員関西ブロック地域総括兼大阪支店長
〃	和 田 林 道 宜	近畿日本鉄道㈱ 代表取締役会長
監 事	岡 田 信	阪神バス㈱ 代表取締役会長
〃	西 願 廣 行	近畿冷蔵倉庫協議会 会長
顧 問	野 村 明 雄	大阪ガス㈱ 特別顧問

(2) 評 議 員

評 議 員	阿 部 哲 夫	㈱名門大洋フェリー 代表取締役会長
〃	上 村 正 美	阪急電鉄㈱ 上席常務取締役都市交通事業本部長
〃	倉 坂 昇 治	西日本旅客鉄道㈱ 代表取締役副社長兼執行役員総合企画本部長
〃	小 林 敏 二	南海フェリー㈱ 代表取締役社長
〃	清 水 雅 範	(一財)神戸観光局 専務理事
〃	中 川 才 助	(一社)大阪府トラック協会 会長
〃	長 尾 真	(公社)兵庫県バス協会 会長
〃	橋 本 一 孝	㈱辰巳商会 専務取締役
〃	松 川 隆 男	(一財)近畿陸運協会 理事長

2. 賛助会員

法人会員数・口数	87 法人	862 口
個人会員数・口数	11 名	15 口

3. 事務局

(1) 事 務 所

大阪市西区西本町1丁目7番2号 (ウエスト・スクエアビル 9F)
 電 話 (06)6543-6291 FAX (06)6543-6295
 ホームページ <http://www.kankouken.org>

(2) 役 職 員 (令和4年3月31日現在)

役 員	3名	(会長(非常勤)、理事長(非常勤)、常務理事)
事務局長	1名	(常務理事、事務局長兼務)
総 務 部	1名	(係長)
業 務 部	2名	(課長、研究員)